

柱3 経済・産業の再興

（総合戦略 基本目標3 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する）

<施策の方向性>

市内企業への経営支援を継続するとともに、人材不足や後継者問題への対応や、デジタル化・多様な働き方など、挑戦する事業者への支援に取り組みます。

また、物流拠点としての地位をさらに向上させ、外部からの投資を呼び込み、地域経済への好循環を生み出していきます。

【数値目標】

項目	基準値	実績値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
全産業の景況感 市内中小企業に聞いた2021年10月～12月時点（DI値【良い－悪い】）と比べた全産業の景況感	-4 (2021年10月～12月)	7	18以上
新規求人倍率 ハローワーク横須賀管内の新規求人倍率	1.02 (2020年度)	1.18	1.28以上
雇用人員 市内中小企業に聞いた2021年10月～12月時点（DI値【多い－少ない】）と比べた全産業の雇用状況	-31 (2021年10月～12月)	-36	-10 (21ポイント以上改善)
港湾取扱貨物量（公共） 1年間（1月～12月）に横須賀港の公共ふ頭で取り扱われた貨物量（目標値は2025年1月～12月の数値）	184万トン (2021年速報値)	629万トン (2023年確定値)	634万トン以上

【(1) 物流拠点としての地位向上】

○重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値	実績値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
新たなふ頭の整備工事着工件数 新たなふ頭の整備計画を策定し、ふ頭整備工事着手を目標とする	—	0件 (累計)	1件 (累計)
久里浜ふ頭の改修整備進捗率 久里浜ふ頭に外貿船舶が寄港できるよう保安（ソーラス）施設の整備工事を実施し、工事完了を目標とする	—	100%	100%

①物流関連企業の誘致【拡充】

横須賀インター周辺地区に物流関連企業を誘致し、経済の好循環を図ります。

②新港地区のさらなる整備・活用【新規】

新港地区において埋立てを行い、新たなふ頭の整備に着手します。完成後は、東京湾口部の物流拠点を目指します。また、埋立地の一部は企業向けに売却する予定です。

③港の活用推進【拡充】

東京九州フェリーの就航については、物流展示会への出展、ポートセールスの実施などによるPRを通して、集荷や定期航路の誘致などによりさらなる港の活用を進めるとともに、市内のホテルや観光関連事業者との連携による地域経済の活性化を目指します。

また、フェリー就航に伴い、新港ふ頭と久里浜ふ頭の改修を行い、港のさらなる活性化を図ります。

【(2) 企業の新たな立地・持続的発展への支援】

○重要業績評価指標 (KPI)

項目	基準値	実績値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
新規立地企業数 企業等立地促進制度を活用して、新たに立地した企業の数	3件 (2018年度～ 2021年度)	4件 (累計)	4件 (累計)
設備投資額 企業等立地促進制度を利用して行った設備投資額	79億円 (2018年度～ 2021年度)	29億円 (累計)	80億円 (累計)

①企業の新たな立地・持続的発展への支援

世界に誇る技術を有する研究機関が集積している特性を生かして、雇用機会の拡大や市内経済への波及効果を見込むことができる企業の新たな立地を促進します。

また、既存企業の設備投資や技術開発等の持続的な発展を支援するとともに、研究機関や新たな企業との連携強化を図ります。

【(3) 事業承継・人材確保への支援】

○重要業績評価指標 (KPI)

項目	基準値	実績値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
事業承継にかかる補助制度の利用件数 事業承継費用補助金、アトツギ新規事業開発支援補助金の交付件数	6件※ (2021年度)	4件	12件
副業助成制度の交付件数 副業支援補助金の交付件数	—	1件	35件

※当初計画の数字を修正

①事業承継の円滑化

事業承継に関する相談受付やセミナーによる啓発、承継手続きにかかる経費の助成など事業承継の円滑化を図ります。

また、親族承継を目指す後継者による新規事業開発を支援するプロジェクト「アトツギベンチャープロジェクト」を開催するなど、様々な手法で後継者不在による廃業を防ぎます。

②人材の確保【拡充】

働き方改革が進み、多様な働き方が広がる中、市内中小企業が効率的に経営課題の解決に取り組めるよう、副業人材活用のセミナーの開催やマッチングサイトの利用にかかる経費の一部を助成するなど、副業人材の活用を推進します。

また、合同企業就職説明会のオンライン開催や横須賀市が運営する求人情報サイトの機能を強化するなどの効率化を進め、企業の人材確保を支援します。

【(4) 時代に合わせた働き方や新たなチャレンジに対する支援】

○重要業績評価指標 (KPI)

項目	基準値	実績値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
テレワーク拠点設置支援補助制度の利用件数 テレワーク拠点設置支援補助金の交付件数	3件※ ¹ (2021年度)	0件	12件
スタートアップオーディション応募件数 スタートアップオーディションへの応募件数	13件 (2019年度)	26件	30件

※¹当初計画の数字を修正

①テレワーク環境の整備【拡充】

テレワークのニーズは今後も高まると予測されるため、民間のテレワーク拠点やサテライトオフィスの整備を促していきます。

また、横須賀の自然・歴史などの豊富な地域資源を生かし、民間企業と連携してソレイユの丘にワーケーション※の環境を整えるなど、多様な働き方ができるまちとして、関係人口の増加を図ります。

※ ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を組み合わせた言葉で、リモートワーク等を活用し、普段の職場や居住地から離れ、観光地や帰省先など、自宅以外の休暇先で働く過ごし方

②新たなチャレンジに対する支援【拡充】

ICT、IoTの導入など、経営改革に取り組む企業や、中小製造業者の新製品・新技術の開発や新分野への進出を支援します。

また、創業・新事業展開に取り組む方を支援するスタートアップオーディションの入賞奨励金を最大100万円から200万円に引き上げます。

さらに、横須賀リサーチパークを中心に、スマートモビリティ（賢い移動運搬手段）を活用した新規ビジネス創出を通じて社会的課題解決を図る、ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジに引き続き取り組みます。

【(5) 魅力あふれる農水産業の振興】

○重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値	実績値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
よこすか野菜がメディアに取り上げられた件数 市が行う、メディアに向けたよこすか野菜のPR・ 情報発信に対し、取り上げられた件数	7件 (2021年度)	17件	15件
関係団体への補助件数 よこすか海の幸魅力発信事業における、補助の実 施件数	6件 (2020年度)	5件	6件

①よこすか野菜の振興【拡充】

よこすか野菜のメディアに向けた情報発信や、首都圏など、消費者が集まる場所での販売機会の拡大、飲食店と連携した企画の推進など、よこすか野菜の認知度の向上・魅力の発信に取り組みます。

また、生産者に対し、販路拡大や消費者ニーズに対応した取り組みの支援を行います。

②水産業の活性化

漁業協同組合が行う、漁場の再生に向けた磯焼け対策や食害生物の除去を支援します。また、よこすかさかな祭りの開催支援など、本市で水揚げされる水産物の魅力を市内・市外に伝える企画の支援を行います。

【(6) 都市基盤の整備】

○重要業績評価指標 (KPI)

項目	基準値	実績値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
えき・まち・みちデザインセンター開設の進捗率 デザインセンター開設の準備・設立	—	50%	100%
設置された市街地再開発準備組合の数 横須賀中央駅、久里浜駅、追浜駅の各駅周辺地区における市街地再開発事業の実現に向けた準備組合が設立された数	4件 (2021年度)	4件 (累計)	5件 (累計)

①追浜駅周辺のまちづくり【拡充】

国とともに進めている国道16号追浜駅前交通ターミナルの整備や、国が進める国道16号追浜駅前交差点の改良、市道追浜夏島線の拡幅、鷹取川の整備などを行います。

併せて、権利者組織による追浜駅前の市街地再開発の取り組みを支援するとともに、自転車等駐車場の整備や、北図書館の移転を進めます。

これらを進めるうえでは、地域住民や企業、交通事業者をはじめとする、様々な地域主体による「えき・まち・みちデザインセンター」の設立に向けて取り組み、将来的なエリアマネジメントを見据えた連携体制を構築していきます。

②追浜駅前図書館の整備【新規(再掲)】

北図書館を追浜駅前の再開発ビルに移転し、再開発事業者をはじめとする民間事業者と連携し、地域全体の価値を向上させる図書館を目指して整備を行います(令和9年度(2027年度)オープン予定)。

③横須賀中央駅・久里浜駅周辺のまちづくり【拡充】

中心市街地である横須賀中央地区、拠点市街地である久里浜地区それぞれの再開発等の動きを支援することで、まちの防災性を高め、商業施設など都市機能の集積を図ります。

市街地再開発事業の促進を目指す区域にあっては、老朽化した建物の建て替え事業に経済的支援策を講じ、まちの安全性の向上と賑わいの創出を促します。

また、それら再開発事業等の事業成立性を向上させるため、周辺地区との調和や連携および地区全体の資産価値の向上等を促す取り組みについて、検討を進めます。

④浦賀地区の活性化【拡充】

レンガ造りのドライドックとして世界最大級の希少な施設である浦賀レンガドックは、ルートミュージアムのサテライト施設として位置づけており、新たな観光拠点として活用していきます。護岸補修など適切な保存を行うとともに、民官による浦賀レンガドックを活用したイベントなどで知名度を高め、近隣の千代ヶ崎砲台跡などと併せて集客を図ります。また、浦賀の渡船について、管理・運航を民営化し、民間事業者が行う様々な取り組みとの相乗効果により、集客力向上を図ります。

隣接する浦賀警察署の跡地を神奈川県から取得し、行政センターに続く狭い道路に歩行者用通路を整備するとともに、その活用を検討していきます。こうした取り組みにより地域全体を活性化し、民間投資を呼び込んでいきます。

⑤西地区の活性化【拡充】

県内でも有数の集客施設であるソレイユの丘では、グランピング施設やカフェレストランなど、新たな魅力を生むリニューアルを行い、さらに人を呼び込みます。これと併せて、美しい海岸線などのロケーションを生かすため土地利用の規制緩和を行った地域に、民間企業等の進出を誘導していきます。

⑥VR技術を活用した3Dマップによるまちづくりの検討【新規】

国土交通省 Project PLATEAU で作成・公開されている、本市の 3D 都市モデルを基に、拠点となる市街地で地図を VR（ヴァーチャル・リアリティ）技術を活用した 3D マップで作成し、まちを立体的に可視化することで、まちづくりを行う際の関係者間の議論の活発化や、迅速な合意形成に役立てます。

○令和6年度予算の重点投資

柱3 経済・産業の再興

(総合戦略 基本目標3 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する)

<主な取り組み>

(1) 物流拠点としての地位向上

◎新規ふ頭整備に向けた調査・検討

横須賀港のポテンシャルを活かして、物流と地域経済を支えるため、新港地区の新たなふ頭計画について、その内容や周辺環境に与える影響の調査・検討を進めます。



(2) 企業の新たな立地・持続的発展への支援

◎企業誘致の推進

成長分野への奨励金の交付および税の優遇により、新たな企業の立地・既存企業の設備投資・産業用地の創出を支援し、市内産業の振興を図ります。

(3) 魅力あふれる農水産業の振興

◎よこすか野菜・海の幸の魅力発信

よこすか野菜や海の幸のブランド力・認知度向上に取り組み、市外消費の拡大や市内への集客増加を図ります。



(4) 都市基盤の整備

◎市街地の再開発促進

横須賀中央や追浜、久里浜など、中心市街地や拠点市街地の活性化、防災性の向上、都市機能の更新のため市街地再開発事業などの支援を行います。

追浜駅前第2街区 事業イメージ



追浜駅前第2街区市街地再開発組合作成

若松町1丁目地区 事業イメージ



若松町1丁目地区市街地再開発組合作成

(5) 民間事業者等との連携

◎民官連携の推進

民間事業者のノウハウやアイデアを活用し、より良い市民サービスを実現します。



【参考】令和6年度の民官連携の取り組み

連携内容	概要
公園の利活用	・三笠公園のリニューアル、大矢部弾庫跡地の整備、長坂緑地の活用検討
遊休地の利活用	・旧田浦月見台住宅（既存建物のリノベーション実施） ・秋谷老人福祉センター（景観を生かした活用・地域活動スペース） ・浦賀駅前周辺地区、うわまち病院跡地、南処理工場跡地（民間活力による利活用）
脱炭素	・ブルーカーボン（藻場造成事業） ・EV充電器の公共施設等への設置
にぎわいの創出	・オクトーバーフェスト、ウィンターマーケット（ヴェルニー公園） ・ポップサーカス（浦賀レンガドック） ・アート&フォトスポット（野比海岸）
健康支援	・ヘルスケアデータの分析（重症化予防の分析等） ・小中学生に体力、運動能力、運動習慣等調査を実施
その他	・横須賀火力発電所市民開放エリアの整備（サッカー、テニス場整備予定） ・こども食堂等に食料等の無償提供 ・国有地・県有地の利活用検討